

Kulife letter business くらしは通信

ビジネス版

Vol. 9 循環型社会 形成の歴史

循環型社会の形成に係る法体系

循環型社会形成推進基本法

- ・循環型社会形成のためのもとなる法律
- ・物質循環の確保、天然資源の消費の抑制、環境負荷の低減などを規定

資源有効利用促進法

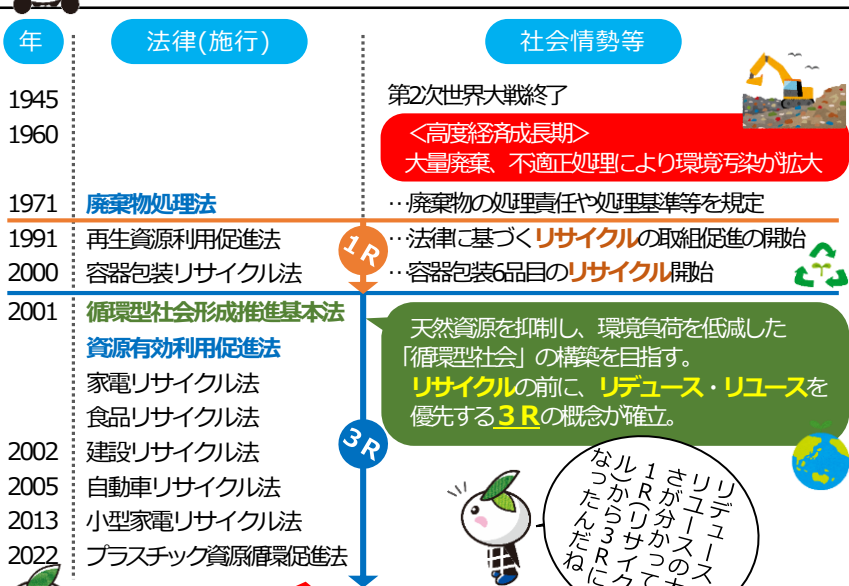
- ・3Rの推進を規定

廃棄物処理法

- ・廃棄物の適正処理などを規定

- 容器包装リサイクル法
- 家電リサイクル法
- 食品リサイクル法
- 建設リサイクル法
- 自動車リサイクル法
- 小型家電リサイクル法
- プラスチック資源循環促進法

循環型社会の形成の歴史



リデュース・リユース・リサイクルの大切さから分かってきた。リサイクルは大切なんだね。

この法律に基づいて、国や自治体で計画が立てられているよ！

循環型社会を目指すこととし、現在の法体系が概ね形作られたのは平成13年です。循環型社会の形成を目指すための基本的な枠組みとして「循環型社会形成推進基本法」が施行され、併せて、官民が一丸となつて3Rを促進するための「資源有効利用促進法」が施行されました。これらを踏まえ、廃棄物の適正処理等を規定する「廃棄物処理法」も改正され、家電等の品目に応じたリサイクル法が定められていきました。

循環型社会の形成の歴史

事業ごみ 3Rのススメ

リデュースのススメ

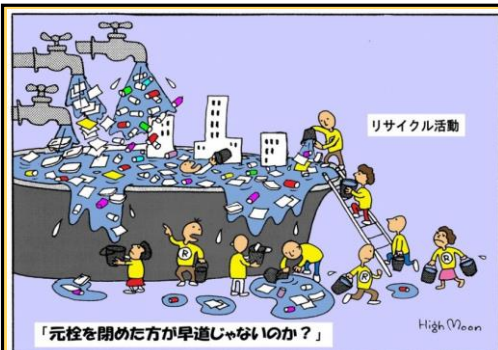
使い切りや売り切りなどを心がけ、無駄なごみの排出をなくしましょう！環境に良いだけでなく、ごみ処理費用の削減にもつながります！

リユースのススメ

オフィスの家具類やPCなどは、リユースショップ等で売却できる場合があります。また、リユース品には、安価で入手でき、新品より早く納品されるメリットがあります！

リサイクルのススメ

どうしてもごみになってしまうものは、しっかり分別してリサイクルしましょう！金属や古紙などの資源は、売却できる場合があります！



このイラストはハイムーン氏のもので、リデュース・リユースの大切さがわかりやすく描かれています。リサイクルは大切ですが、天然資源の消費を抑制し、環境負荷の低減を目指すには、何よりもごみの減量が大切です。時代の変化とともに、ごみを出さないスマートなビジネスモデルが求められてきています。



3Rの中の優先順位

循環型社会形成推進基本法や国の計画では、3Rの中でもリデュースやリユースを優先して取組を進めることとなっています。